

『子供たちが見つけた多言語の楽しさ!』

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」— 第 57 号—

この 10 月の 3 連休に、多言語活動フォーラムが 2 泊 3 日、愛知県犬山市で開催されました。

家族で参加したたくさんのメンバーたちが、多言語の飛び交う空間を体感してきました。

「日本人メンバー同士、多言語で話すことが自然にできるようになって驚いている!」という、

高校生ジュニアリーダーNさんの感想に代表されるようにこれから毎週のセルラス多言語活動の場であるピアザにも、多言語の新しい大きなうねりが押し寄せて来そうな予感でいっぱいです。

そんな中で今回のメルマガでは、すでに青少年サマーキャンプのときに、多言語ロールプレイを通して、仲間たちと多言語の場を創る楽しさを見つけていた小6の女の子の手記を紹介したいと思います。

【目次】

《1》「みんなで見つけた多言語の楽しさ!」 名倉さん(小6)

《2》セルラス インフォメーション

《1》「みんなで見つけた多言語の楽しさ!」

神奈川県厚木市在住 名倉さん(小6)

【『私の目標』を手助けしてくれたグループ名】

私の今回のキャンプの目標は、「6年生になったから、ジュニアリーダーの助けになれるようにがんばりたい!」でした。

私は、その目標を達成できたと思いました。

達成できた理由の一つは、私たちが考えてつけた「玄米バイシテオセム」というグループ名です。

私は、なぜこのグループ名に目標を助けられたのかというと、玄米の意味です。

玄米は白米になる前の段階だから、このキャンプが終わったら、みんな玄米から白米に成長しよう!

という思いをこめました。

ということは、自分が苦手な事をがんばって挑戦しないと白米にはなれません。

だからこのグループ名は私の今回の目標の手助けになってくれました。

【大きなジェスチャーをしたら、かんこく語が口から出てきた!】

具体的にどういう時に手助けになったかと言うとロールプレイマラソン(※注)です。

今年のロールプレイマラソンでは、多言語しかえらべませんでした。

ですが私はキャンプに行く前は毎日の習い事で、シャドウイングもあまりできませんでした。

でもとりあえず、かんこく語だけは耳に入ってきてやすかったのだからおぼえました。

ところが当日になると、かんこく語がすっぽりとなくなってしまいました。

私と同じグループになった人達も私と同じような人ばかりでした。

でも「言語がダメならジェスチャーで表現しよう!」と言った子がいて、私のグループはものすごくジェスチャーを大きさにやって相手に伝えることにしました。

私はこの時「えー、ジェスチャー?!」と思いました。そうなんです。私はジェスチャーがあまり得意ではありませんでした。

でもその時に、私に大きな一歩を踏み出す力をくれたのが、グループ名です。

「玄米からみんなまで白米になって家に帰ろう!」という意味をとっさに思いました。

そして、私はちょっと苦手なジェスチャーをがんばってやってみました。

すると、ピアザの時以上にジェスチャーが大きくなって、そのとたん、どわすれしたかんこく語が口から出てきたんです。

【満足感と達成感から新しい目標が生まれた】

私たちのグループの人は、私もふくめ、みんなものすごい達成感とまんぞく感がありました。

そして、その時のこり時間が1分ていどだったので、このみたされた気持ちについてみんなで話し合ってみました。

すると、こんな意見が出てきました。

「ピアザの時より大きさにやったの初めてだったからかな。」

「だよね、私もピアザの時、ジェスチャーちっちゃくなるもん!」

そして結論は、「ピアザの時は多言語が出てきても、なれてるメンバーだし、いつも日本語から始めてるから、日本語だけおぼえればいというくせができたんじゃないかな。」ということになりました。

私はこういうふうによるこびあえる仲間がいるっていいなと思いました。

そしてこのようなキャンプもとても新しくおもしろかったので、これからはキャンプだけではなく、

「早くピアザの日にならないかな!」と思えるようなピアザを、そっせんして作りたいという目標があたりしくできました。

※注 ロールプレイマラソン:30分x3セットで、

セット毎にグループを変えてストーリーのロールプレイをすること。

いかがでしたでしょうか。子供たち自身が、多言語ロールプレイに挑戦して、

「言語は音声からではない、動作が音声を引き出す」ということを、身をもって体験したのです。

そして満足感と達成感を味わい、次の目標を見つけたことに、大人は脱帽です。

今年のグランドフィナーレである12月の多言語活動フェスティバルでは、

まさにそんな子供たちが主体となって企画・運営をしながら、多言語の飛び交う場を創っていきます。

大人の人たちも、サポートをしつつ、子供たちに負けずに多言語に挑戦していきませんか?!

《2》 セルラス インフォメーション

◆ 秋の講演会のお知らせ

いよいよ、秋の講演会が始まります。セルラスのこと、多言語習得活動のこと、詳しく知りたい方は、ぜひ足をお運びください。また、お友達、お知り合いにぜひお知らせください。お申し込みお待ちしております。

◎関東

▼東京

【飯田橋】

10/26(木)19:00~21:00

10/31(火)10:00~12:00

▼神奈川/川崎市

【溝の口】

11/6(月)9:45~11:45

11/9(木)9:45~11:45

◎関西

▼兵庫県

【東灘】

11/7(火)10:00~12:00

【三宮】

11/8(水)10:00~12:00

【六甲】

11/13(月)10:00~12:00

【神戸】

11/14(火)10:00~12:00

開催場所、時間などの詳細は HP をご覧ください。

⇒<http://www.celulas.or.jp/skejur3.html>

◆セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。

このメールマガジンと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。

先週、第8号が発行されました。この夏、アメリカや韓国にホームステイしたきた子供たちの体験や青少年サマーキャンプ、そして、10ヵ月の留学を終えて帰国した二人の高校生の手記も掲載された特大号です。

ホームページでもご覧になれますので、ぜひご一読ください。

⇒ <http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

このメールマガジンは、セルラスの会員をはじめ、これまでセルラスが開催した『多言語教育講演会・セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せいただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントや講演会などのお知らせを、月2回の予定でお届けします。